

株主通信

— 2016年 —

IoT時代の圧倒的No.1に向けて
ソフトバンクグループの挑戦は続きます。

 SoftBank
Group

ソフトバンクグループ株式会社 証券コード:9984



株主の皆さまへ

2016年9月、当社は半導体設計大手の英国アーム社を3.3兆円で買収しました。買収金額の大きさに驚かれた方も多いと思いますが、同社の技術的な優位性は、今後到来するIoT*時代に圧倒的な強みを発揮すると確信しています。このようなIoT化というパラダイムシフトに備えた積極的な投資の一方で、アリババ株式など保有資産の売却により、約1.9兆円の投資回収を実現しました。

今後も新規投資と投資回収を両立させることにより財務の健全化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ソフトバンクグループ株式会社
代表取締役社長

孫正義



* IoT: Internet of Things 世の中に存在するさまざまな物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信できるようになるという概念。

 SoftBank
Group

株主通信 2016年 目次



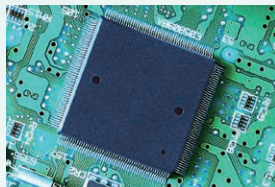
2 2016年度上期の事業概況

5 特集1 | 国内通信事業の取り組み 顧客ニーズに応える 多様なサービス展開



6 特集2 | アーム社の買収について 世界有数の半導体設計技術を持った 英国アーム社を子会社化

8 CSR REPORT | ソフトバンクグループが取り組む CSR活動のご報告



10 財務Q&A

12 連結業績ハイライト

14 セグメント別営業概況

16 TOPIC | スポナビライブ



17 会社概要

当 社の2016年度
上期(4～9月)
の業績は、売上高が
微減となったもの

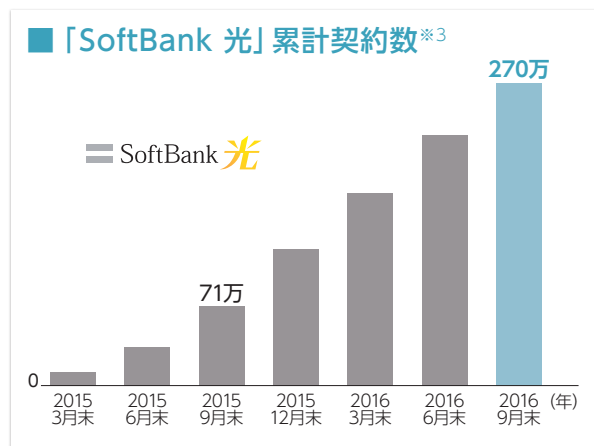
の、調整後EBITDA、営業利益および純
利益は増加しました。売上高の減少は、
ヤフー事業と国内通信事業は好調だっ
たものの、円高の影響によりプリント
事業と流通事業の売上高が円ベースで
減少したことによるものです。純利益
は、主にアリババ^{※1}株式の一部および
スーパーセルの全株式の売却により増

国内通信事業が安定的に成長し 調整後EBITDA、営業利益が増益に

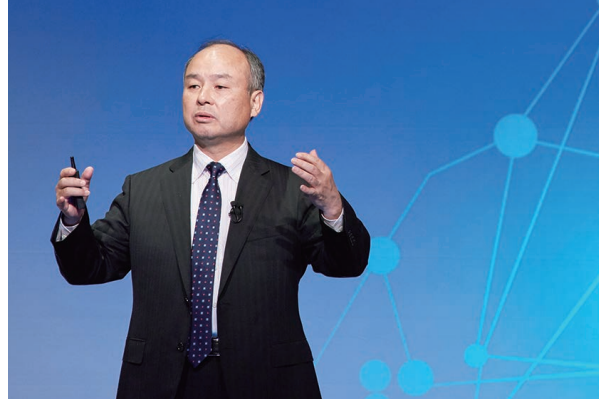
加しました。

国 内通信事業は、「SoftBank 光」の
契約数増などにより増収に、また、
スマートフォンの販売手数料の減少な
どにより増益となりました。スマート
フォンの契約数では、「ワイモバイル」
ブランドが好調に推移しました。

■ 連結業績 ^{※2}			
(億円)	2015年度 上期	2016年度 上期	増減
売上高	42,812	42,718	-94 (-0.2%)
調整後 EBITDA	12,505	13,339	+834 (+6.7%)
営業利益	6,319	6,539	+220 (+3.5%)
当期純利益 (親会社の所有者に 帰属する)	4,267	7,662	+3,395 (+79.6%)



※1 Alibaba Group Holding Limited ※2 売上高、調整後EBITDA、営業利益は継続事業のみの数字を表示。 ※3 「SoftBank 光」の契約数は「SoftBank Air」を含む。

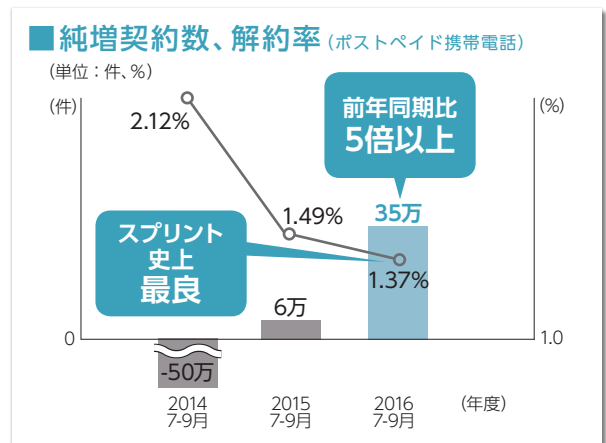
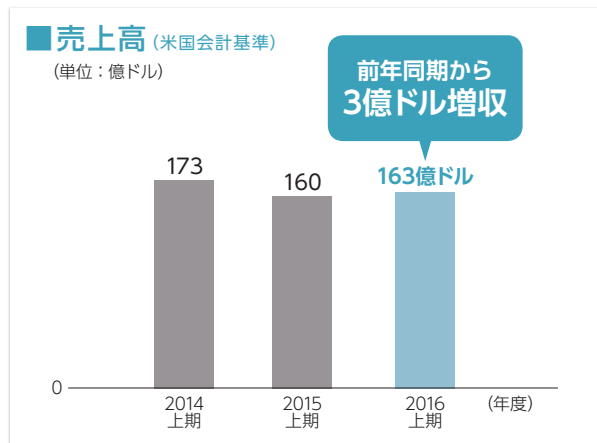


ス プリント事業では、CEOのマルセロ・クラウレの指揮のもと、反転戦略^{※4}に取り組んでおり、当上期は顕著な効果が表れました。2016年7～9月期における純増数が前年同期の5倍以上となる35万契約となったほか、解約率も1.37%とスプリント史上最良となりました^{※5}。

この結果、同社の当上期の米ドルベースの売上高は163億ドルとなり、前年同期から3億ドルの増収となりました。コスト削減

スプリント事業は反転戦略が順調に進展

にも引き続き取り組んでおり、当上期の削減額が11億ドルに達するなど、強固な経営体質への転換が進んでいます。



※4 1.純増の改善・売上の安定化、2.費用削減、3.多様な調達手段、4.ネットワーク改善の4項目。 ※5 いずれもスプリント・プラットフォームのポストペイド携帯電話において。

当 社は当上期に、アリババ株式の一部、スーパーセルの全株およびガンホー※6株式の売却により、約1.9兆円の投資回収を行いました。これらの一部は、アーム社※7の買収※8に充当しています。今後は、IoT分野への大型投資については本年10月に発表した「ソフトバンク・ビジョン・ファンド※9」を通じて実行していきます。また、投資先企業の成長段階に応じて株式売却を進めるなど、財務的な規律の維持に努めていきます。

企業価値のさらなる向上へ

配 当については、中間配当を1株当たり22円とし、期末配当の1株当たり22円（予定）と合わせ、年間配当は1株当たり44円（昨年度から3円の増配）となる予定です。さらに、2016年2～8月に5,000億円（8,514万株）の自己株式を取得し、10月31日に発行済株式総数の8.33%に相当する1億株の消却を行うなど、株主還元に取り組みました。

■ 当上期の投資回収実績	
 Alibaba Group アリババ 阿里巴巴集团	100億米ドル (約10,400億円)
 スーパーセル	73億米ドル (約7,700億円)
 ガンホー GungHo Online Entertainment, Inc.	722億円
合計	約18,822億円

■ 配当金			
	2015年度	2016年度	増減
中間配当	20円	22円	2円
期末配当	21円	22円 (予定)	1円 (予定)
年間配当	41円	44円 (予定)	3円 (予定)

■ 発行済株式総数	
12億660,365株 (2016年9月30日時点)	11億660,365株 (2016年10月31日時点)

1億株
8.33%
消却

※6 ガンホー・オンライン・エンターテイメント ※7 ARM Holdings plc ※8 詳細はP.6-7へ。 ※9 詳細はP.10-11へ。

顧客ニーズに応える多様なサービス展開

わが国の携帯電話・PHSの加入者数は、2016年9月末時点で1億6,000万件を超えました。国民1人当たり約1.3台*保有していることになります。このような中、携帯電話サービスに求められる内容も多種多様であり、ソフトバンクは、さまざまな施策でお客様の期待に応じていきます。価格重視の

* 各社公表データを2015年度国勢調査データで除算

お客さまには「Y!mobile」の低価格サービスやブロードバンドサービスとのセット割引「おうち割 光セット」での割引を、動画などの大量のデータ通信には大容量データ定額サービス「ギガモンスター」を提案しています。また、2016年12月から長期利用者向けに長期継続特典がスタートします。

①低価格通信サービス

Y!mobile 基本使用料
1,980円/月*1~

②大容量データ定額サービス

ギガモンスター データ定額 20GB
6,000円/月*2

③長期利用者向け特典

長期継続特典 Tポイント
15,000円分付与*3

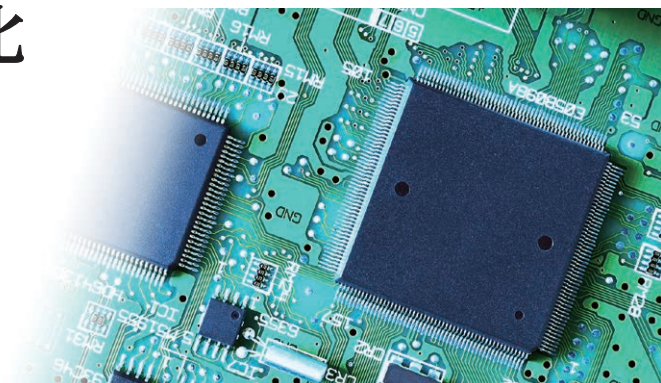
④スマホとネットのセット割引

おうち割 光セット 2年間毎月最大
2,000円割引*4

*1 通話およびデータ通信料込み。「スマホプランS」で「スマホプラン割引」・「ワンキュッパ割」適用時。契約翌月から13カ月目以降は2,980円/月。
*2 別途基本プランへの申し込みが必要。*3 2年間最大。「Yahoo!ショッピング」などYahoo! JAPANサービスで使える期間固定Tポイント。2016年12月開始予定。*4 「ギガモンスター データ定額 30GB」にご加入の場合。

世界有数の半導体設計技術を持った 英国アーム社を子会社化

英国ケンブリッジに本社を置くアーム社を2016年9月5日、子会社としました。同社の技術は、大きなパラダイムシフトとなるIoT時代に不可欠な存在としてその強みを発揮すると期待しています。



省電力性が評価され幅広く採用

アームは、マイクロプロセッサおよび関連技術のデザインなど、半導体のIP^{*1}のライセンスに係る事業を行っています。同社の技術は、世界中のさまざまな半導体チップに採用され、スマートフォンや家電製品のほか、マイクロコントローラーや車載機器などの幅広い最終製品に使用されています。

アームの技術は省電力性を強みとしており、同社の技術を搭載した半導体チップ

は、スマートフォンやタブレットの普及とともに数を伸ばし、現在では世界のスマートフォン市場において95%超(出荷ベース)という圧倒的なシェアを獲得しています。

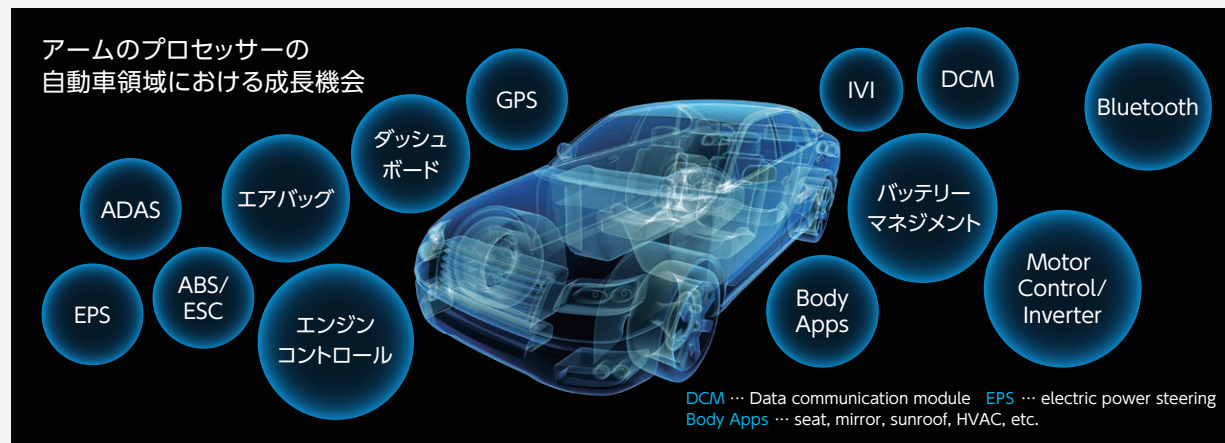
また、理化学研究所が運用中のスーパーコンピュータ「京」の次期モデル(ポスト「京」^{*2})にも、消費電力の削減効果を期待されて、アームのプロセッサが搭載されることが決定しています。

IoT時代のキードライバーに

アームのプロセッサは、省電力に加え、セキュリティ面においても強みを有しています。今後IoTの時代では、さまざまなモノとモノがインターネットにつながり、通信の安全性の確保が不可欠となります。高い安全性、省スペース、省電力などの特徴を兼ね備えたアームのプロセッサは、IoT時代の主要なけん引役として期待されています。IoTは、対象市場が携帯市場よりもはるかに大きくなると見込まれており、このような成長市場におい

ても、アームはシェアの拡大を目指しています。

また、近年自動車産業では、自動運転技術の開発が進んでいます。現在も、自動車にはアームのプロセッサが多く使われていますが、自動運転技術の進展に伴い、リアルタイムでの制御が必要な項目が増加するため、自動車に搭載されるプロセッサ数が大幅に増加することが見込まれており、今後アームのプロセッサの出番もおのずと増えてくると想定されています。



※1 回路の設計情報などの知的財産。 ※2 「フラッグシップ2020プロジェクト」。現在の「京」の100倍程度の計算能力を、現在の消費電力の3倍程度で達成する国家プロジェクト。現在の「京」の計算能力は、1秒間に1京（10の16乗）回。

「情報革命で人々を幸せに」の経営理念のもと、すべての人々と社会に貢献する企業であり続けたいとの想いで、さまざまな活動に取り組んでいます。

ショートタイムワーク制度

～障がいのある方を対象とした新しい雇用制度を導入～

ソフトバンクは、2009年から携帯情報端末の活用により、障がいのある子どもたちの生活や学習を支援する「魔法のプロジェクト」を実施しており、就労適齢期に達した障がいのある方を支援する取り組みとして、「ショートタイムワーク制度」を導入しました。この制度は、東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野と連携し、就労意欲はあるものの、障がいにより障害者雇用率制度の算定対象となる週20時間以上働くことができず、これまで就労機会が得られなかった方の就労機会を広げる新しい雇用制度です。2016年11月末時点で、この制度のもと、17人が働いています。

今後は雇用人数を拡大するとともに、制度のノウハウや知見をほかの企業や団体とも共有し、障害者雇用率制度の枠組みを超えて、障がいのある方の雇用が進む社会を目指していきます。



「Pepper社会貢献プログラム」募集開始

～小中学校でのプログラミング教育などを支援～

ソフトバンクグループ株式会社は、プログラミング教育や社会貢献に活用してもらうことを目的に、Pepperを自治体および非営利団体に3年間無償で貸し出す「Pepper社会貢献プログラム」を2017年3月に開始します。

このプログラムは、「情報革命で人々を幸せに」を経営理念に掲げ、最先端の技術により人々のライフスタイルを革新する当社グループの事業を生かして、社会貢献活動として取り組むものです。公立小中学校に3年間Pepperを活用したプログラ

ミング授業を実施してもらう「スクールチャレンジ」と、Pepperを活用した社会貢献につながる取り組みを提案した非営利団体に、3年間その取り組みを実行してもらう「ソーシャルチャレンジ」の2つからなります。

2016年11月8日～21日の期間で公募を行い、応募のあった自治体と非営利団体の中から貸出先を選定しています。



Q 「ソフトバンク・ビジョン・ファンド」とは何ですか？

A グローバルにテクノロジー分野へ出資することを目的に、当社が本年10月に設立を発表した私募ファンドです。当社は、このファンドに今後5年間で少なくとも250億ドル(約2.6兆円)を出資する予定で、当社のほかサウジアラビア王国の政府系ファンド*の参画も決定しています。さらに、複数のグローバルな大手投資家もこのファンドへの出資を検討中であり、ファンドの総額は1,000億ドル(約10兆円)規模となる可能性があります。当社は今後、数百億円を超える投資については、このファンドを通じて行う予定です。

* パブリック・インベストメント・ファンド

Q 有利子負債の状況について教えてください。

A 2016年9月末時点の有利子負債は13.7兆円、有利子負債から手元流動性*1を差し引いた純有利子負債は10.7兆円でした。有利子負債はアーム社の買収に伴い増加しています。また、当上期にハイブリッド債*2を発行しました。

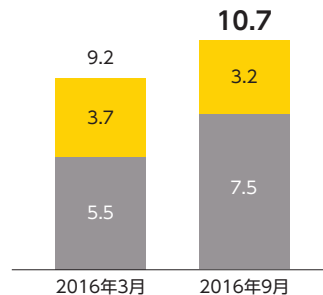
*1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資

*2 社債であるものの一部資本性を認識することのできる債券。当社のハイブリッド債の場合は、格付機関から発行後5年間は50%の資本性が認められている。

純有利子負債

■ スプリント ■ 除くスプリント

(単位:兆円)



Q 投資の状況はどうなっていますか？

A 当社は中国、インドや東南アジアを中心にさまざまなテクノロジー関連企業に投資しています。投資分野と主な投資先は、下表のとおりです。これらの企業の成長は著しく、これらの中から第2、第3のアリババの登場が期待されます。

ポートフォリオ企業群

イーコマース*	
ライドシェア	
フィンテック	

* 一部抜粋：イーコマースにクラシファイドサービスを含む

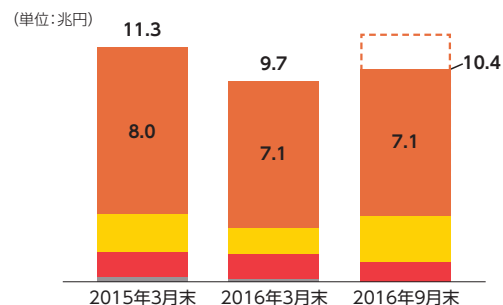
インターネット & メディア	
AI& コネクテッドデバイス	
ヘルスケア	
コンピューショナル・ バイオロジー	

Q 保有株式の時価総額は？

A 当社では、アリババなど複数の上場株式を保有しています。当上期中にアリババ株式の一部売却により持分が減少したにもかかわらず、アリババとスプリントの株価上昇により保有時価総額は増加し、2016年9月末時点で10兆円を超えています。

ソフトバンク保有株式株価情報 [で検索](#)

保有上場株式時価総額*



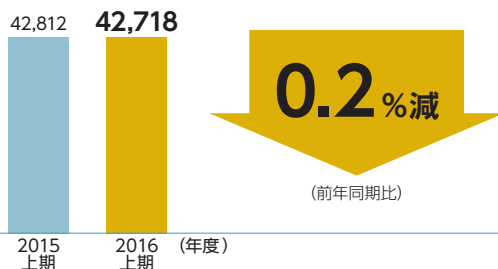
* 当社および当社完全子会社保有分

連結業績 ハイライト

売上高は円高の影響を受けるも、営業利益、純利益は前年同期を上回りました。

■ 売上高 (継続事業)

(単位：億円)

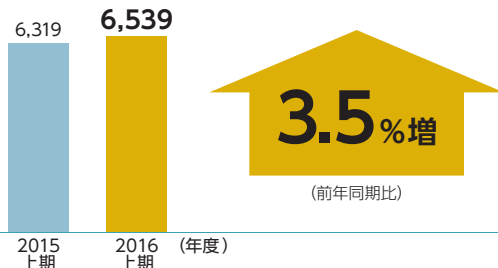


円高で横ばいも各事業は好調

売上高は前年同期とほぼ横ばいの4兆2,718億円となりました。ヤフー事業で1,589億円、国内通信事業で469億円増加したものの、円高の進行に伴いスプリント事業で2,032億円、流通事業で323億円減少しました。なお、当上期に新設されたアーム事業の売上高は、144億円となりました。

■ 営業利益 (継続事業)

(単位：億円)

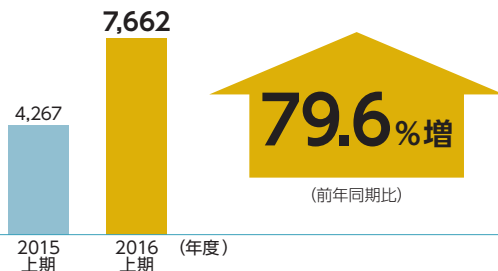


日米の通信事業が増益を牽引

営業利益は6,539億円となり、前年同期から220億円増加しました。ヤフー事業は前年度に計上したアスクル子会社化による一時益の影響で減益となりましたが、国内通信事業は販売手数料の減少などにより増益となり、スプリント事業ではコスト削減が功を奏し増益となりました。

■ 純利益 (親会社の所有者に帰属する純利益)

(単位：億円)

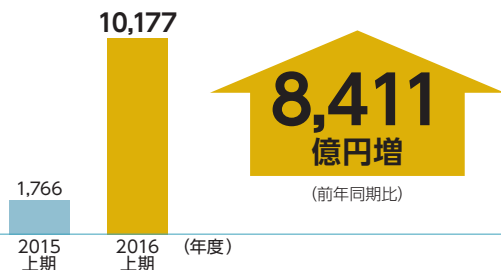


スーパーセルやアリババ株式の売却で大幅増益に

純利益は7,662億円となり、前年同期から3,396億円増加しました。スーパーセル株式の売却益5,303億円、およびアリババ株式の一部売却などによる関連会社株式売却益2,381億円を計上したことが主な要因です。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位：億円)

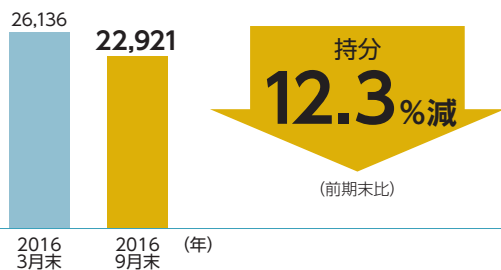


前年度の配当源泉税の影響がなくなり、大幅に増加

営業活動によるキャッシュ・フローは1兆177億円のプラス（前年同期比8,411億円増）となりました。前年度はグループ会社間の配当に係る源泉所得税（5,512億円）の支払いが発生していましたが、当上期はその影響がなくなったことが主な要因です。

■ 親会社の所有者に帰属する持分

(単位：億円)



為替変動と自己株式取得などで減少

親会社の所有者に帰属する持分は2兆2,921億円となり、前期末から3,215億円減少しました。利益剰余金が7,418億円増加したものの、円高の影響により在外営業活動体の為替換算差額が6,853億円減少したことと、自己株式の取得（当上期中に3,501億円）が主な要因です。

スーパーセルに係る業績について

当社は2016年7月29日に、保有するスーパーセルのすべての株式を売却しました。これに伴い同社の純損益および同社株式の売却益は、継続事業と区分し非継続事業に区分しているほか、前年同期の損益についても遡及修正を行い、非継続事業に区分しています。

アームの子会社化について

当社は、2016年9月5日にアームの買収を完了し、子会社化しました。同社の業績は、同年9月6日から反映されています。また、同社の子会社化に伴い新たな事業セグメントとして「アーム事業」を新設しています。

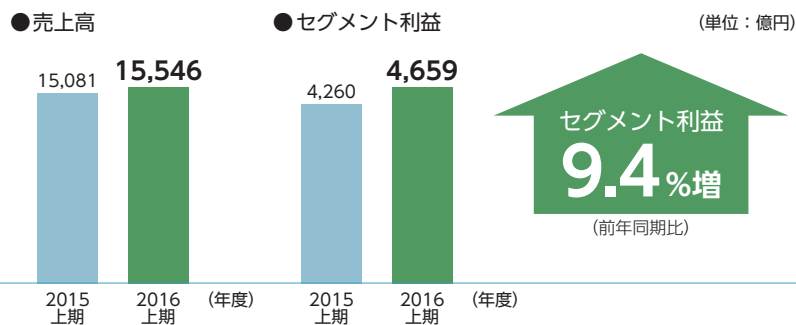
セグメント別 営業概況

2016年度上期は、為替などの要因を除くと、おおむね順調に推移しました。
アーム事業を新設しました。



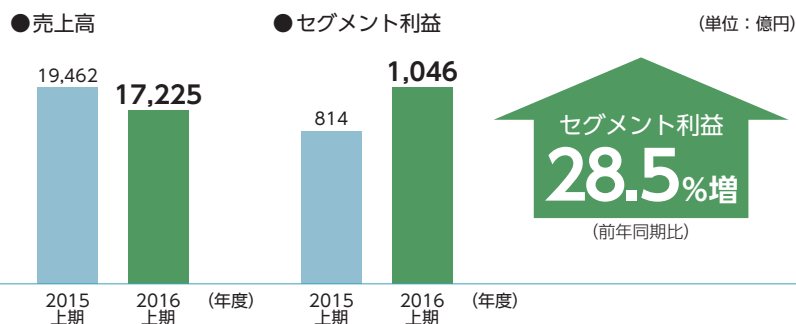
国内通信事業

主に「SoftBank 光」の契約数増加に伴い増収。販売手数料の減少により増益に。



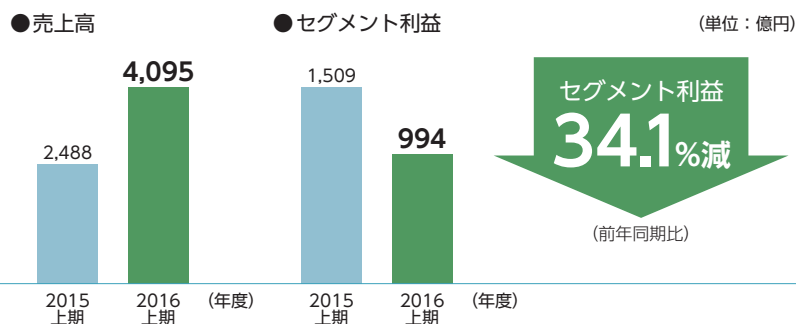
スプリント事業

米ドルベースでは増収も、円高の進行により、円ベースでは減収に。コスト削減の進展により安定的な利益計上が実現。



ヤフー事業

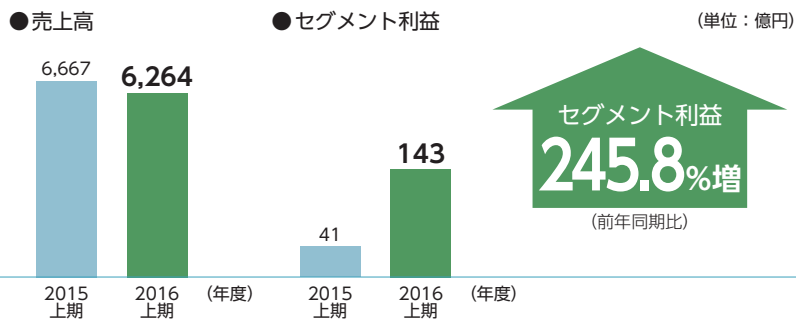
前年度のアスクル子会社化により増収も、子会社化に伴う一時益*の計上がなくなり減益に。既存事業は引き続き好調。





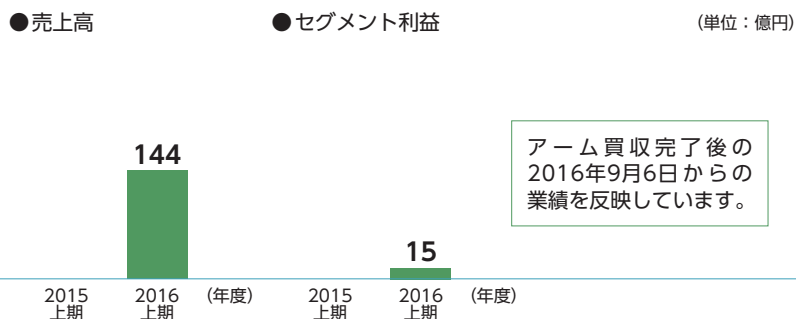
流通事業

事業は堅調ながら、円高の進行により減収に。



アーム事業

9月6日以降の業績を反映。買収関連費用234億円と、買収前から保有していた同社株式の再評価益*182億円を含む。



* 企業結合に伴う再測定による利益

人気スポーツのライブ中継が楽しめる 映像配信サービスをスタート

スポナビライブ
Sportsnavi LIVE

人気のスポーツが見放題 **初月1カ月無料**

月額情報料：3,000円 ▶ **500円**※1 (ソフトバンクをお使いの方)

パソコンや、Chromecast (クロームキャスト) を利用してテレビでも視聴できます。



B.LEAGUE (男子プロバスケット)※2

B1/B2リーグ戦の全試合を配信。



海外サッカー

プレミアリーグやリーグ・エスパニョーラの全クラブチームの試合を独占配信。



プロ野球※3

1軍だけでなく、
2軍の試合も応援
できる！



アメリカズカップ

世界最高峰のヨットレース「ルイ・ヴィトン・アメリカズカップ・ワールドシリーズ」の一部レースを配信。

このほか、米国大リーグ、男子テニスなどもライブでお楽しみいただけます。

※1 ソフトバンク以外をご利用中のお客さま(ワイモバイルを含む)は月額情報料3,000円です。※2 B2リーグ戦のライブ配信は試合開催会場のインターネット回線事情などにより、やむを得ず中止となる場合があります。※3 巨人、広島の本拠地試合、中日の一部主催試合は、配信対象外です。

© 2016 Y's Sports Inc. All Rights Reserved. © 2016 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

©B.LEAGUE ©PREMIER LEAGUE 2016/©Clive Brunskill/Getty Images ©2016 Liga de Fútbol Profesional /©Urbanandsport/NurPhoto via Getty Images ©Fukuoka SoftBank HAWKS Corp. All Rights Reserved. ©Matt Knighton

会社概要

(2016年9月末現在)

■ 社名 (商号)

ソフトバンクグループ株式会社
(英文社名) SoftBank Group Corp.

■ 設立年月日

1981 (昭和56) 年9月3日

■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

■ 資本金

238,772百万円

■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株

発行済株式総数 1,200,660,365株

※2016年10月31日、自己株式100,000,000株を消却しました。

■ 株主数

216,921名

■ 事業内容

純粋持ち株会社

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 取締役および監査役

□ 代表取締役社長

孫 正義

□ 代表取締役副社長

宮内 謙 ソフトバンク株式会社 代表取締役社長兼CEO

□ 取締役

ロナルド・フィッシャー Director and President, SoftBank Holdings Inc.

ユン・マー Executive Chairman, Alibaba Group Holding Limited

宮坂 学 ヤフー株式会社 代表取締役社長

柳井 正 (社外取締役) 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

永守 重信 (社外取締役) 日本電産株式会社 代表取締役会長兼社長CEO (最高経営責任者)

□ 常勤監査役

村田 龍宏

遠山 篤 (社外監査役) 米国カリフォルニア州公認会計士

□ 監査役

宇野 総一郎 (社外監査役) 弁護士

柴山 高一 (社外監査役) 公認会計士、税理士

窪川 秀一 (社外監査役) 公認会計士、税理士

●本誌に掲載されている会社名、社名および商品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

●本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

●本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

●本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 期末配当金受領株主確定日	3月31日
■ 中間配当金受領株主確定日	9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
■ 公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL: www.softbank.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

○住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等に口座を
お持ちの株主さま …… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの
株主さま …… 下記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

○未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店までお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: **0120-232-711** (通話料無料)
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 (受付時間 土日祝祭日等を除く平日 9:00 ~ 17:00)

(注)旧株式会社アッカ・ネットワークス株式に係る特別口座管理機関へのお問い合わせ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話: 0120-782-031 (通話料無料) (受付時間 土日祝祭日を除く平日 9:00 ~ 17:00)



ソフトバンク
グループの
「今」が分かる

冊子の内容についてのより詳しい情報は当社IRサイトでご覧いただけます。

www.softbank.jp/corp/irinfo/

ご登録いただいたメールアドレスに、ソフトバンクグループの情報を月3回お届けします。

[お申し込みはこちら www.softbank.jp/corp/news/magazine/](http://www.softbank.jp/corp/news/magazine/)

免責事項 | 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

ソフトバンクグループ株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

電話: 03-6889-2000 www.softbank.jp

